2026 年 10 月 20 日

「金沢マラソン 2026」「富山マラソン 2026」での飲料容器回収・紙製コップリサイクルの取り組みについて

「金沢マラソン 2026」（2026 年 10 月 25 日開催）と、「富山マラソン 2026」（同年 11 月 1 日開催）のオフィシャルスポンサーを務める北陸コカ・コーラボトリング株式会社（本社：富山県高岡市、代表取締役社長執行役員：井辻 秀剛、以下「当社」）は、日本製紙株式会社 （以下「日本製紙」）と協働で、各会場において「飲料容器回収・紙製コップリサイクルの取り組み」を実施します。





（上図：リサイクルのスキーム図、下図：過去大会の画像）



「金沢マラソン 2026」「富山マラソン 2026」には、２大会合計で約 30,000 名のランナーが参加する予定です。

本取り組みは、紙容器の再資源化技術を持つ日本製紙と、容器由来の廃棄物削減を目指す当社が協働し、会場で排出される使用済み紙製コップを回収・リサイクルすることで、廃棄物の削減に貢献するものです。各会場で適切に分別回収された使用済み紙製コップは、製紙工場で段ボールにリサイクルされる予定です。

今年で 5 回目となる使用済み紙製コップのみを分別する取組みは、お陰様でランナーやボランティアの皆様のご理解を得て、定着しています。適切に分別回収すれば再資源化できることを広く示し、その回収・リサイクルにまつわるノウハウは、全国のマラソン大会でも生かされております。

当社は 2 大会の協賛社としてランナー、運営スタッフに飲料を提供するとともに、大会事務局との協働によりペットボトルと紙製コップの回収に引き続き取り組みます。なお、会場内で排出されたペットボトルはキャップ・ラベル・ボトルに 3 分別し、ボトル本体はグループ会社である GRN エコサイクル株式会社（石川県白山市）で回収・中間処理し、「ボトル to ボトル」のリサイクルスキームによって新たなペットボトルへ生まれ変わります。

金沢マラソンにおいては初めての試みとして、給水所で出たペットボトルのキャップを集め、キャップフレークとして売却した売上金から「世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」へ寄付を行います。リサイクル資源として再利用されるだけでなく、その売却益を通じて発展途上国へのワクチン支援につながる取り組みも実施いたします。

持続可能な大会を目指し、今年度も、飲料容器の分別・回収に皆さまのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

紙コップ回収量	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
金沢マラソン	約 1.1t	約 1.6t	約 2.5t	約 2.0t
富山マラソン	約 0.5t	約 1.5t	約 2.2t	約 2.0t

PET ボトル回収量	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
金沢マラソン	490 kg	600 kg	750 kg	640 kg
富山マラソン	470 kg	630 kg	640 kg	510 kg

■「金沢マラソン 2026」概要 （https://www.kanazawa-marathon.jp/）

- 開催日時：2026 年 10 月 25 日（日） ※雨天決行
  【マラソン】8:30 一斉スタート 15:30 終了
  【ファンラン】9:00 スタート 9:15 終了
- 定員：15,500 人（マラソン 15,000 人、ファンラン 500 人）
- 主催： 金沢マラソン組織委員会、石川県、金沢市、北國新聞社、（一財）石川陸上競技協会、金沢市陸上競技協会

■「富山マラソン 2026」概要 （https://www.toyamamarathon.com）

- 開催日時：2026 年 11 月 1 日（日）※雨天決行
  【マラソン】 9：00 一斉スタート 16：00 過ぎ 終了
  【車いす（約 9km）】 8：50 スタート 9：30 終了
  【ジョギングの部（約 4km）】 8：30 スタート 9：20 終了
- 定員：14,330 人 （マラソン 13,000 人、車いす 30 人、ジョギングの部 1,300 人）
- 主催 ： 富山マラソン実行委員会、（一財）富山陸上競技協会

■コカ・コーラシステムのサステナビリティへの取り組みについて

サステナビリティは、私たちの事業のあらゆる側面に取り入れられており、未来の成長に欠かせない要素といえます。日本コカ・コーラ株式会社と全国 5 社のボトリング会社などから構成されるコカ・コーラシステムは、これらの取り組みを通じて、コカ・コーラの使命である『Refresh the World. Make a Difference. （世界中にさわやかさを提供し、前向きな変化をもたらすこと）』の実現を目指しています。